

# 訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。  
(編集部)

## ■ 2004年1月号

### ● 特集

p.110 図11-1: 4060BにRESET端子(12番ピン)を追加し、グラウンドに接続する

p.113 図14-1(b): DCセット用→DCカット用

p.126 図11-2: UA741の出力部の吹き出しは-12V

p.128 図14-1:  $R_{VR2}$ の電源側は-12V,  $R_8$ から $D_4$ カソードへの配線と $R_9$ から $IC_{2a}$ の2番ピンへの配線との交差点に接続点を入れる

p.134 図5-1:  $R_{VR1}$ と $R_{VR2}$ の摺動子の接続先はグラウンドではなく $-V_{SS}$

p.164 図10-1:  $C_2$ は0.047  $\mu$ F

p.165 2右↓1行目: 2K117のほうか…→2SK30AYは…

p.165 2右↑1行目: 大きくなるでしょう→大きくなります

p.166 図4-1:  $D_1$ はEC21QS03L

p.173 図15-1(a)右下の説明:  $IC_1$ ,  $IC_2$ …→ $IC_2$ ,  $IC_3$ : 7815M

p.185 左↓7行目: 回転信号の…→回転振動の…

p.185 左↑4行目: 図中の太線で…→図中の赤の破線で…

p.188 右↓3行目: 低温に…→低音に…

p.189 図4-1:  $Tr_2$ のベースにつながるOPアンプは $IC_{2a}$ ,  $I_i$ の矢印に左向きの矢じりを追加, 右下の説明にある $Tr_3$ と $Tr_4$ の型名は2SC1815

p.190 左↓5行目: 出力レンジ0 $\pm$ 12Vのプログラマブル高速パルス・ドライバ

p.191 図6-1: ADG412の3番ピンにつながる抵抗は1k $\Omega$

### ● エレクトロニクス計測の部屋

p.211 左↓4行目: 「の遅延掃引機能」を削除

p.211 右↑1行目: 13-1(a)のアナロ

グ・ファンクション…→13-1(b)のDDS方式ファンクション…

p.212 写真13-6のキャプション: FG-350の出力信号を…→FG350とSG-4105の出力信号を…

p.212 左↑2行目: 350の…→350とSG-4105の…

### ● ICレビュー実験室

p.250 図1-2: 三角形の中を下図と差し替え

p.252 右↓1行目: (G+1)倍されて…→G倍されて…

